

令和8年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立天下茶屋小学校の結果

～分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について～

区 名	西成
学 校 名	大阪市立天下茶屋小学校
学 校 長 名	小濱 靖

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和8年4月に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育局では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育局の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・ 国語
- ・ 算数

(2) 質問調査

- ・ 児童に対する調査
- ・ 学校に対する調査

3 調査の対象

- ・ 国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・ 大阪市立天下茶屋小学校では、第6学年 37名

令和８年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立天下茶屋小学校の結果概要

・昨年度までは、体育科を研究教科として取り組み、体力の向上をめざして尽力してきた。今年度からは、研究教科を国語科とし、学力向上についての取組を強化している最中である。今回の結果を見てみると、現状は大阪府・全国と比べて大きく差が開いていることがわかった。

・学習状況調査の児童質問紙では、大阪府・全国とそこまで大差はないものがほとんどであった。しかし、「1日あたりのスマートフォンや携帯電話、パソコン、タブレット、ゲーム機、テレビ等でSNSや動画を視聴しますか（スマートフォン等を使って学習する時間やゲームをする時間を除く）」の項目では、4時間以上と回答する児童の割合が、本校52.6%、大阪府25.3%、全国21.9%を示した。非常に高い割合に驚いた。

児童の更なる成長に向けては、今一度ご家庭との連携の強化が必要と感じる。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

○国語科

【平均正答数が低い】本校5.9問に対し、大阪府7.7問、全国7.9問

【平均正答率が低い】本校45%に対し、大阪府59%・全国60.9%。

【記述式の問題の無回答率の割合が高い】本校27.0%、大阪府43.8%、全国45.7%

・2三イ「【花山さんの文章の一部】の下線部イを、漢字を使って書き直す」本校18.9%、大阪府6.6%、全国6.6%

・3三（2）「【文章】を読んで考えたことを、自分の経験と結び付けてまとめて書く」本校21.6%、大阪府14.8%、全国15.6%

○算数科

【平均正答数が低い】本校7.1問、大阪府9.0問、全国9.0問

【平均正答率が低い】本校45%、大阪府7.0%、全国7.0%

【B図形領域が特に低い】本校39.9%、大阪府54.2%、全国55.3%

質問調査より

・「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」肯定的回答97.4%

・「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」肯定的回答92.1%

・「学校に行くのは楽しいと思いますか」肯定的回答81.6%

・「自分には、よいところがあると思いますか」肯定的回答84.2%、大阪府86.1%、全国85.6%とかなり変わりがない。

・「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」肯定的回答94.7%、大阪府92.5%、全国91.4%と府全国よりも高い。

→学校での異学年交流や学級での自尊感情を高める取組が成果を上げている。

・「学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、読書をしめますか（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）10分より少ない28.9%、全くしない34.2%と63.1%の子どもたちがほとんど本を手にとることがないことがわかった。

→学校での「読書時間」の重要性を感じる。

今後の取組（アクションプラン）

今年度から本校の研究教科を「国語科」として、基礎基本の定着と豊かな表現力の育成をめざしている。具体的なアプローチとして以下の3点を推進している。

①国語活動の充実を図るために思考を可視化するための「話型」や「キーワード」の提示をする。

②児童自身が「問い」をもって解決に挑む授業を工夫する。

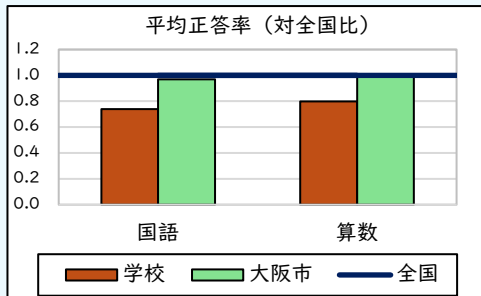
③図プレットの活用について検索や記録だけでなく、分析や表現のためのツールとして活用頻度と質を高める。

さらに、昨年度から取り組んでいる「総合的読解力」の育成や「非認知能力調査」を行い、各取組を数値化し児童の学力向上に活用していく。

令和8年度 全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果の概要

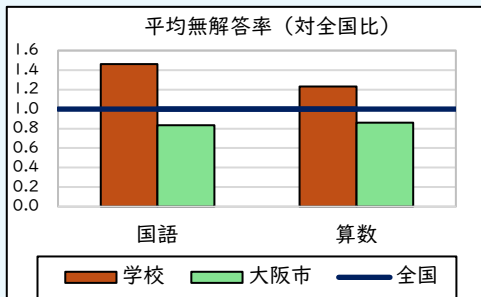
平均正答率（％）

	国語	算数
学校	45	45
大阪市	59	56
全国	60.9	56.4



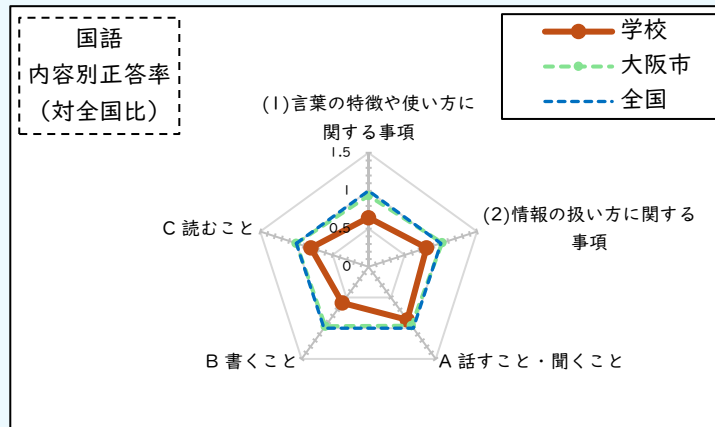
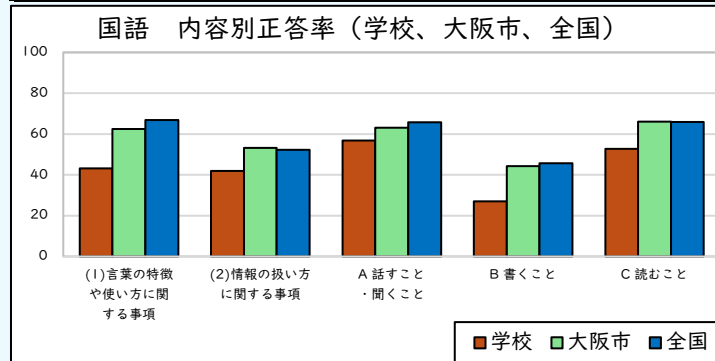
平均無解答率（％）

	国語	算数
学校	5.0	3.9
大阪市	2.8	2.8
全国	3.4	3.2



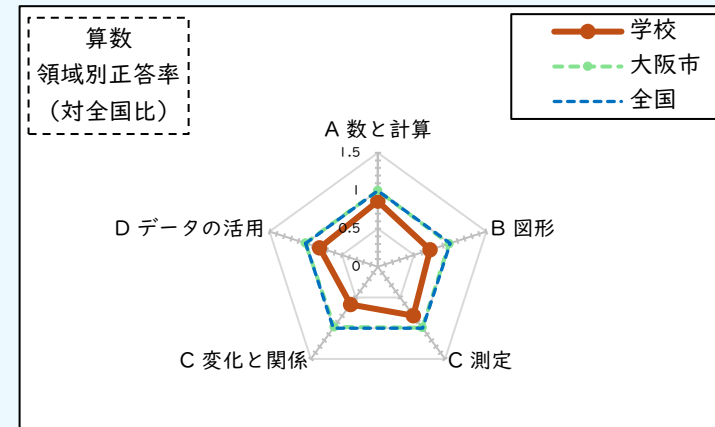
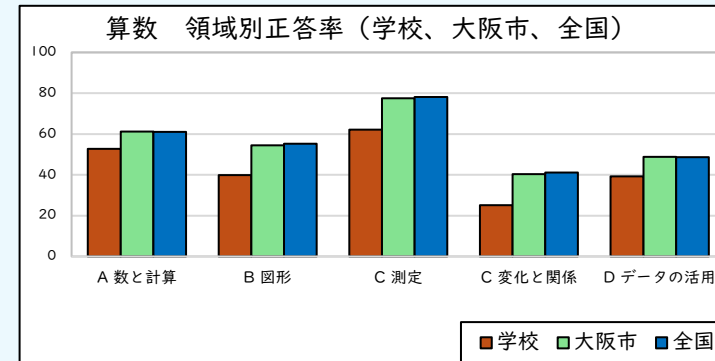
【国語】内容別正答率

学習指導要領の内容	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に 関する事項	4	43.2	62.5	66.8
(2)情報の扱い方に 関する事項	2	41.9	53.2	52.3
(3)我が国の言語文化 に関する事項	0	-	-	-
A 話すこと・聞くこと	3	56.8	63.1	65.8
B 書くこと	2	27.0	44.2	45.7
C 読むこと	2	52.7	66.0	65.9



【算数】領域別正答率

学習指導要領の領域	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	52.7	61.2	61.1
B 図形	4	39.9	54.5	55.3
C 測定	1	62.2	77.5	78.1
C 変化と関係	3	25.2	40.3	41.1
D データの活用	4	39.2	48.8	48.6



令和8年度 全国学力・学習状況調査 児童質問調査より（1）

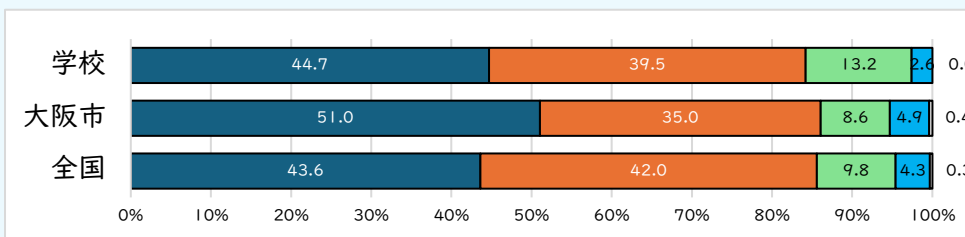
1 2 3 4 5 6 7 その他・無回答

質問番号

質問事項

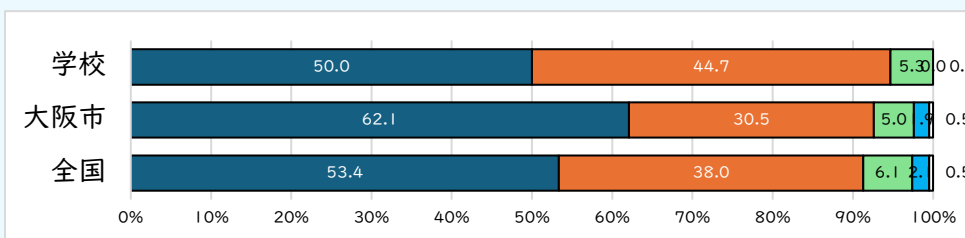
※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(8) 自分には、よいところがあると思いますか



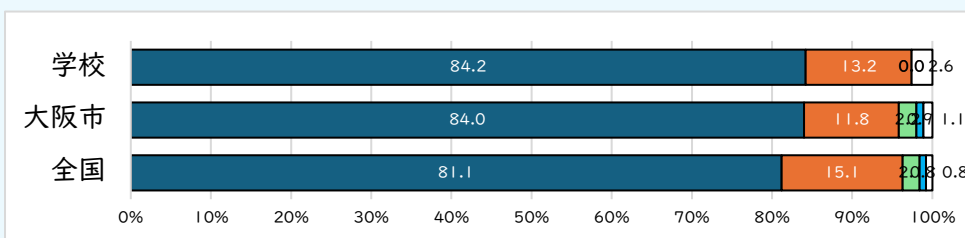
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(9) 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



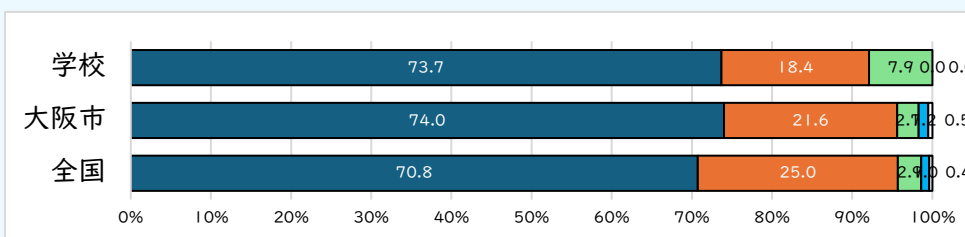
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(12) いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



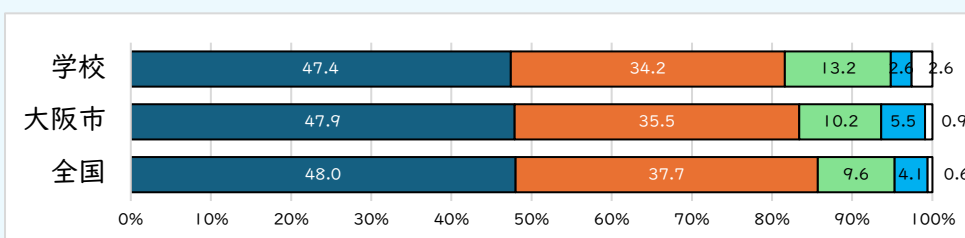
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(14) 人の役に立つ人間になりたいと思いますか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(15) 学校に行くのは楽しいと思いますか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

令和8年度 全国学力・学習状況調査 児童質問調査より(2)

■1 ■2 ■3 ■4 ■5 ■6 ■7 □その他・無回答

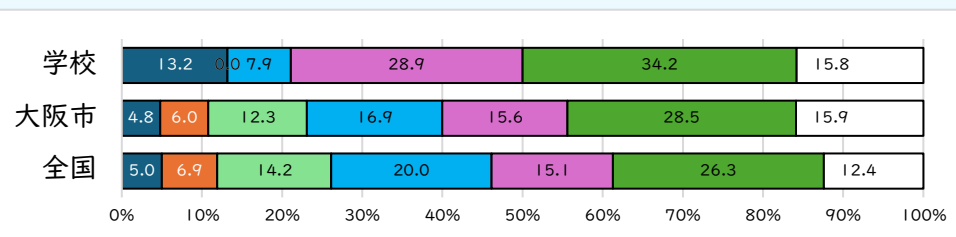
質問番号

質問事項

(2 6)

学校の授業時間以外に、普段、
1日当たりどれくらいの時間、
読書をしますか（電子書籍の読
書も含む。教科書や参考書、漫
画や雑誌は除く）

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。



1	2時間以上
2	1時間以上、2時間より少ない
3	30分以上、1時間より少ない
4	10分以上、30分より少ない
5	10分より少ない
6	全くしない

Category	Percentage
学校	0.0%
大阪市	0.0%
全国	0.0%

Category	Percentage
学校	0.0%
大阪市	0.0%
全国	0.0%

Category	Percentage
学校	0.0%
大阪市	0.0%
全国	0.0%

Category	Percentage
学校	0.0%
大阪市	0.0%
全国	0.0%

令和8年度全国学力・学習状況調査 学校質問調査より

1 2 3 4 5 6 7 その他・無回答

質問番号

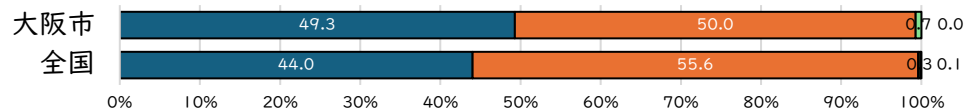
質問事項

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(16)

ICTを活用した校務の効率化（事務の軽減）の優良事例を十分に取り入れていますか

【学校の回答】 1 十分に取り入れている

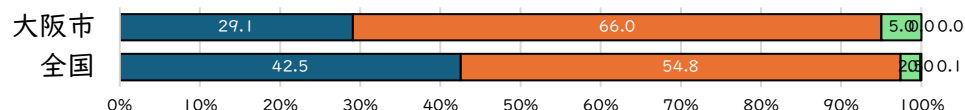


1 十分に取り入れている
2 一部取り入れている
3 全く取り入れていない

(17)

児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか

【学校の回答】 2 どちらかといえば、している

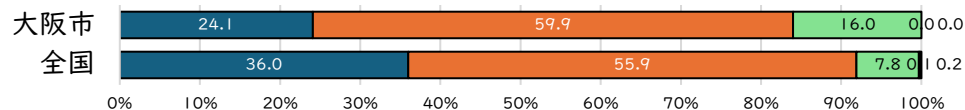


1 よくしている
2 どちらかといえば、している
3 あまりしていない
4 全くしていない

(20)

今までの取組をそのまま踏襲するのではなく、新しい取組を導入したり、提案をしたりしてくる教職員が多いですか

【学校の回答】 1 そう思う

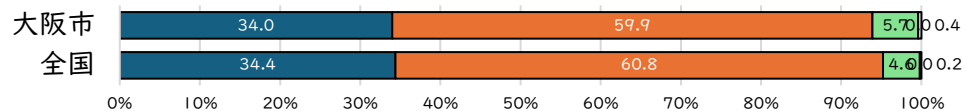


1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

(32)

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学習指導において、児童が、それぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫しましたか

【学校の回答】 2 どちらかといえば、行った

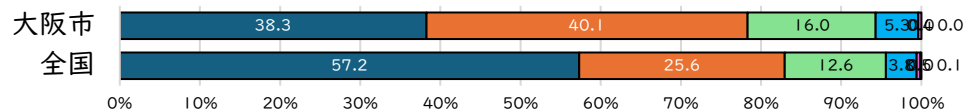


1 よく行った
2 どちらかといえば、行った
3 あまり行わなかった
4 全く行わなかった

(60)

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか

【学校の回答】 2 ほぼ毎日（1日に1回くらいの授業で活用）



1 ほぼ毎日（1日に複数の授業で活用）
2 ほぼ毎日（1日に1回くらいの授業で活用）
3 週3回以上
4 週1回以上
5 月1回以上
6 月1回未満